

# 震源決定の再計算

一元化震源（上段）の読み取り値を基に、震源の再計算を行った。中段は、一元化で用いている一次元構造を用い、観測点を固定した上で DD 法を行った。下段は、観測点を固定し、三次元速度構造（勝間田）を用いて計算を行った。

